

「地域のかかりつけ医 まるき内科クリニック」

“薬師かわら版”



〒989-5625 栗原市志波姫堀口十文字1-1 TEL0228-24-8073 発行者 院長 鈴木 慎二

待合室



待合室コーナーは、糖尿病の予防や改善に向けた情報をお伝えします。

～血糖値を調整するインスリン～

インスリンは、すい臓のランゲルハンス島という組織にあるβ細胞で作られるホルモンです。食事によって血液中のブドウ糖が増えると、すい臓のβ細胞がこの働きを素早くキャッチしてすぐにインスリンが分泌します。血糖が全身の臓器にとどくと、インスリンの働きによって臓器は血糖を取り込んでエネルギーとして利用したり、たくわえたり、さらにたんぱく質の合成や細胞の増殖を促したりします。こうして、食後に増加した血糖はインスリンによって速やかに処理され一定量に保たれるのです。



インスリン療法Q&A

Q1 インスリンはどこに保管したらいいの？
A：未使用のものは冷蔵庫で保存です。使用中のものは室温で、直射日光を避けて下さい。決して冷凍庫には入れないでください。

Q2 インスリン療法を始めると一生やめられないの？
A：インスリン療法を始めたために「自分のすい臓からインスリンが出なくなってしまう」ということはありません。インスリン注射を的確に行い、高血糖を是正し、すい臓に休息を与えることで、インスリンの分泌機能が回復し、再び飲み薬での血糖コントロールが可能になる場合もあります。

インスリンの保管方法と注意点

未開封のもの

- ・2～8℃で保管

未使用

冷蔵庫の扉ポケット (4℃がちょうどいい)

使用中のもの

- ・室温で保管

使用中

室温でOK

その他の注意点

- ・凍結
- ・高温、直射日光
- ・飛行機
- ・使用期限を守る

機内への持ち込みを忘れず！

クリニック さんし
白衣の天使



梅雨に入りましたね。気温が一定ではないので、暑い日の外出や農作業には水分を十分に摂って下さい。電解質をスムーズに吸収できる経口補水液がおススメです。熱中症にならないように気を付けましょう。熱中症とは関係ないのですが糖尿病の月刊雑誌「さかえ」に「ペットの糖尿病」が載っていました。ペットを飼っている方は参考にどうぞ

掲示板

夏季休診のお知らせ

○8月15日(木)～19日(日)

上記となっております。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひ致します。

8月12日(月)は休日当番医です。